

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

審判委員会からのお知らせ

24年度の1級審判検定・研修会等の質疑の中で下記のソフトテニスハンドブックおよびワンポイントレッスンについて修正整理すべき項目が提案され、審判委員会にて審議・検討し、諒承されましたのでお知らせします。

1. ハンドブック競技規則第33条（サービスの順序又はサイドの誤り）

【解説13】について

誤りに気づいてもインプレーでは、プレーを中断しない。中断した場合は、中断したペアの失ポイントとする。ただし、サービス時にレシーバーが気づき、レシーブ態勢に入らず「タイム」と言って中断することは認められるが、レシーブ後は中断したプレーヤー又はペアの失ポイントとする。

となっていますが、後半の「レシーブ後は中断したプレーヤー又はペアの失ポイントとする。」は、既にインプレーに入った状態であり、前段の「誤りに気づいてもインプレーでは、プレーを中断しない。」と重複するため、次の通りとします。

(ハンドブック2013版から修正します。)

誤りに気づいてもインプレーでは、プレーを中断しない。中断した場合は、中断したペアの失ポイントとする。ただし、サービス時にレシーバーが気づき、レシーブ態勢に入らず「タイム」と言って中断することは認められる。

まだサービスのトスを上げていないからタイムを認めよう!



タイム!



2. 2012年12号の「10月号ワンポイントレッスン解説の訂正」文の再修正について

10月号のQ&Aの解答を

マッチ中、第1サービスがフォールトになり、第2サービスを打つ前に、選択球と違っていることに気付いた場合は、正しい選択球に交換して第1サービスから行う。



マッチ中、第1サービス（正しい選択球）がフォールトになり、第2サービスを打つ前に、そのボールが選択球と違っている事に気付いた場合は、「レット」とし、正しい選択球に交換して第2サービスを行う。

と訂正しましたが、第1サービス（正しい選択球）は、レットではなくフォールトを適用します。レットとしますと第1サービスからになりますので、「**レット**」としを抹消し次の通り再修正をいたします。

マッチ中、第1サービス（正しい選択球）がフォールトになり、第2サービスを打つ前に、そのボールが選択球と違っている事に気付いた場合は、第1サービスは「フォールト」とし、正しい選択球に交換して第2サービスを行う。



セカンドサービスだから
大事に行こう。
あれ！ボールが選択球
じゃないよ・・・。
どうしよう。